

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

ICT技術を背景とした独創的な構想力に基づく「サービス」と「情報」を世に問い、社会の進展に貢献する

2 中長期の経営戦略

1. 乗換案内事業強化

モバイル・PC向けの機能強化、広告・付随サービス売上拡大、有料サービスの課金方法細分化を推進

3. MaaS事業の本格展開

デジタルチケット「ジョルダンモバイルチケット」を軸に、交通機関との提携拡大、プラットフォーム整備を進展

2. 法人向けサービス拡大

乗換案内Bizのクラウド化対応、公共部門への取り組み強化、バスロケーション・予約発券システム提供拡大

4. 地域・訪日向け情報充実

グルメ・地域情報・クーポンサービス強化、乗換案内の13言語対応を活かした訪日旅行者向けサービス拡大

3 対処すべき課題

① 急速な技術変化への対応

- ・生成AIを含むAI技術の高度化に迅速に対応する体制構築
- ・IoTやMaaS・スマートシティ取り組みの加速
- ・新技術・ノウハウの先行蓄積と体制整備

② 収益源の確保・多様化

- ・スマートフォン・タブレット普及下での収益獲得手段確保が至上命題
- ・店舗・施設誘導による手数料、ハードウェア開発・販売、AI活用サービス提供
- ・MaaS事業における移動手段提供と交通機関向けシステム提供による新収益

③ 競争環境の激化対応

- ・大手インターネット企業によるサービス提供増加・拡大への対抗
- ・サービス無料化による競争激化への対策
- ・生成AI普及による情報収集スタイル変化への適応

面接で使えるポイント

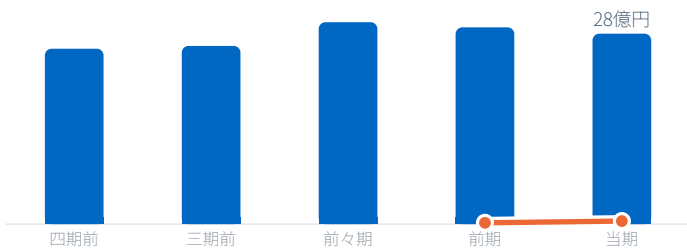
- ・乗換案内を軸に、IoT・AI・MaaSなど急速に進化する技術環境に対応し…
- ・ハードウェア分野へ拡大し、デジタルチケットなど実際の移動手段提供まで含むサービス展開を加速させている
- ・個性を活かす組織文化の下で、最新技術に敏感な集団として新たな付加価値創造に挑戦する企業

ジョルダン株式会社

情報・通信業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 9月30…

証券コード 3710

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
28億円

営業利益率
1.6%

財務健康度
58点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 38.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
513万円

情報・通信業内 538位/592社

平均年齢
43.3歳

情報・通信業内 77位/593社

平均勤続
12.8年

情報・通信業内 70位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ジョルダン(株)【3710】：配当情報

ジョルダン株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

